

2017 年立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会審査報告

立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会

立教大学現代心理学部では、人間を対象とする心理学研究が倫理的配慮のもとに実施されるために、立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会規程に基づき審査を行った。2017 年 1 月～12 月の間に立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会において承認された研究（心理学専攻）は、下記の 8 件である。

申請者：心理学専攻博士課程後期課程 3 年次 川久保 惇

研究課題：Savoring Beliefs Inventory (SBI) 日本語版の作成と信頼性・妥当性の検討

申請者：心理学専攻博士課程前期課程 1 年次 宮川 えりか

研究課題：日本語版 Way of Savoring Cheaklist (WOSC) の信頼性と妥当性の検討

申請者：心理学専攻博士課程後期課程 4 年次 廣川 佳子

研究課題：経営理念浸透尺度の信頼性と妥当性の検討 (3)—1

申請者：心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 瀬下 夢大

研究課題：事象関連電位測定による構造的不適合がユーモア知覚にもたらす影響に関する研究

申請者：心理学専攻博士課程後期課程 5 年次 廣川 佳子

研究課題：経営理念の浸透効果の検証

申請者：心理学専攻博士課程後期課程 5 年次 廣川 佳子

研究課題：非正規雇用労働者を対象とした経営理念の浸透効果の検証

申請者：心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 宮川 えりか

研究課題：The key elements of personal development through international travel

申請者：心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 宮川 えりか

研究課題：海外修学旅行が主観的ウェルビーイングとジェネリックスキルに与える影響

以上

委員会構成メンバー

林もも子（委員長）、都築譽史、小口孝司、松永美希、石渡孝之